

令和4年度 小田原東高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務の内外にかかわらず、信用失墜行為の防止を心掛け行動する。	朝の打合せや職員会議において、行政課発出文書及び新聞記事を活用して教育公務員としての自覚を促して不祥事防止に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等の防止）	パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する。	ハラスメントを未然に防ぐために、風通しの良い職場づくりを目標に、校内の巡回やアンケートを実施するとともに、日頃から「報告・連絡・相談」について職員に周知した。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ等のない、生徒にとって安心かつ安全な学校を実現する。	日頃から継続的に指導を行った。特に、4月当初には研修用映像を活用して新採用等の若手職員や未視聴職員を対象に研修会を実施して意識向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	基本的人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	行政課発出文書や新聞記事等をとおして体罰厳禁及び生徒の基本的人権尊重について共通理解を深めるとともに、生徒及び職員に対してアンケートを実施して不適切な指導の有無を確認した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行に係る不適正事案のない学校を実現する。	事故を未然に防止するために、入学者選抜業務については、事前に全職員によるマニュアル確認や研修会を実施した。また、進路関係については、3年担任に進路関係進捗状況確認票を作成し、事故防止に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理に努め、日常的な管理の徹底と事故防止を図る。	情報セキュリティについて不祥事防止研修会を実施した。また、答案用紙等の滅失を防ぐために成績処理期間中のシュレッター利用禁止を確実に行うとともに、生徒個人情報の収集について年度当初に周知した。
交通事故の防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	生徒に交通安全教育を行う立場として、自ら交通違反、交通事故を起こさない。	飲酒運転防止に向けて、年末に行政課発出文書をとおして職員に周知した。また、日頃より朝の打合せや職員会議等をとおして交通法規遵守について職員に周知するとともに意識の向上を図った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	コンプライアンス（法令遵守）に基づいて、適正かつ円滑な業務執行を行い、働き方改革を進める。	成績処理や入学者選抜業務においては、ダブルチェック体制で臨み、事故防止に努めた。また、全職員で情報共有を行うために、必要に応じて臨時の職員打合せを開催して共通認識を得た。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則った私費会計の適切で円滑な執行に努める。	年2回のPTA監査を実施するとともに、財務事務調査指導の結果について職員会議でその内容を周知し、適切な処理を行うように努めた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

データの操作等、職員による処理が行われるときに事故が起こるリスクが高まるので、事前にマニュアルや研修会をとおして操作確認やダブルチェックを周知してきた。「報告・連絡・相談」を徹底して不祥事の未然防止を努めるとともに、今後は、さらに職員同士がお互い注意しやすい職場環境づくりを目指すし、不祥事を未然に防ぐようにする必要がある。